

## 工事概要

名称：信州大学医学部附属動物実験施設

建物位置：松本市旭3-1-1（信州大学医学部構内）

省令認可：平成元年5月29日

工期：平成6年3月24日～平成7年3月31日

基本設計・監理 信州大学施設部

設計：建築：(株)教育施設研究所

電気設備：(株)建築設備設計研究所

機械設備：(株)建築設備設計研究所

施工：建築：戸田建設(株)

電気設備：岡野電気工事(株)

空調・衛生設備：大気社(株)

滅菌装置：(株)サクラ精機

昇降機設備：日本エレベータ製造(株)

## 建築概要

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階建、地下1階建

外装：磁器小口平タイル張

延床面積：4049㎡

地階 220㎡ 1階 709㎡ 2階 721㎡ 3階 733㎡ 4階 733㎡

5階 735㎡ 6階 198㎡

- ・「臨床実験施設」としてR I実験施設を併設。（総面積 5176㎡）
- ・動物のクリーン度により階層別に飼育室を配置した。
- ・全熱交換機の導入および空調ユニット毎に温度設定を可能にし省エネルギー化を計った。
- ・大動物専用搬入口を設け直接施設内に搬入可能とした。
- ・実験室を10室配置し、施設内における広範な動物実験に対応可能とした。
- ・クリーン動物、感染実験、遺伝子導入動物の飼育区域を磁気カードによる制限管理下とした。

## 設備概要

### 空気調和設備

1. 飼育室・実験室系統 全外気単一ダクト方式  
ユニット型空気調和機（水平型） ACU-1~11  
温度：動物種により 21~26°C±2°C  
湿度： " 50±10%  
換気回数：10~20回/時
2. 事務室系統ファンコイルユニット方式

### 給排水衛生設備

- 給水：病棟高置水槽より供給
- 給湯：貯湯タンク 給湯量3000ℓ 給湯温度55°C
- 排水：固液分離器で処理後、公共下水道へ
- ガス：都市ガス

### 電気設備

- 旭団地特高受電所から高圧で受電（3相3線式 6.6kV 60Hz）  
単相3線 250KVA 3相3線 600KVA  
ディーゼル発電装置 出力200KVA 6.6KV（非常用）を設置

### 特殊設備

- 滅菌設備：高圧蒸気滅菌装置 4台 焼却炉設備 動物用 150kg/h
- 洗浄設備：ケージウォッシャー 1台
- 昇降機：乗用エレベーター600kg（9人用） 1基  
ダムウエーター（フロア形）200kg 1基  
人荷用エレベーター750kg（11人用） 1基

### 通信設備

- 学内電話設備：16回線

### 主な実験設備・機器

- 動物用手術台、動物用麻酔装置、遠心分離器、クリーンベンチ、フリーザー、蒸溜水造装置、製氷機、ドラフトチャンバー、磁気出入管理装置、飼育用水洗架台、エアシャワー